1

TI マネージャーのダウンロード/インストール

2015.5.20 作成

RigExpert の サ イ ト (http://www.rigexpert.com/i ndex?f=downloads&l=jp)から 最新版のSetupRETI8.exe フ ァイルをダウンロード・起動し、 画面の説明に従ってドライバー とTIマネージャー・ソフトをイン ストールします。

インストール後、TI マネージャー は自動起動します。TI マネー ジャーは TI-8 の動作に必要不 可欠です。

TI マネージャー・アイコンは Windows のシステムトレーかデ スクトップに、又は両方に表示 されます。



2

RigExpert TI-8 をトランシーバに接続

TI-8 とトランシーバ(以下 TRX)を各社 TRX に特化した TRX ケーブルで接続する。

TI-8 に D サブ25 P を接続し、 TRX に専用ケーブル他端の全 てのコネクターを接続する。

全てのコネクターが正しく確実 に接続されている事を確認す る。



3 RigExpert TI-8をPCに接続

TI-8とPCを通常のUSB A-B ケーブル(長さ5m 以内)で 接続する。

PC 裏面 USB ポートに接続を 推奨。

ケーブルを接続すると、PCは TI-8を自動検出します。



4 TI マネージャーの設定

TIマネージャーで仮想シリアル ポートの設定を行い、PCと TRX が通信できるようにします。

インストール直後の起動では、 右の様にポート番号の代わりに **未選択**が表示されます。

📜 RigExpert TI Manager 🛛 🗙
ステータス ポート 設定
インダーフェース: RigExpert TI-8 interface (208000001) ~
- CAT ポ-ト 未選択 ポートの追加
PTT/CWボート 未選択
-FSKボート 未選択ポートの追加
- WinKey ボート 未選択ポートの追加
□ 隠す

4 TI マネージャーの設定・・続き

ポートタブから CAT, PTT/CW および FSK ポートに重複しない 任意の番号を割付ます。

右図は、それらの機能に COM7, COM8, COM9 および COM10 を割付けた時の例で す。

最後に生成/更新 ボタンを押して設定を更新します。

📜 RigExpert TI Manage	r	\times
ステータス ポート 設定	!	
インターフェース: RigExp	pert TI-8 interface (208000001)	\sim
- シリアル・ポート番号を選	沢し、生成/更新を押して下さい。	
CAT *' − ŀ:	COM6 - 現在の選択 ~	1
PTT/CW ポート:	COM7 - 現在の選択 ~	
FSK ポ−ŀ:	COM8 - 現在の選択 ~	
WinKey ポ−ŀ:	COM9 - 現在の選択 ~	
	生成/更新	Ĵ
	全ポート削除	
	÷	
	隠す	

数秒後に仮想シリアルポートが 構成されて、ステータス タブを 開くと COM ポート番号が割付 けられているのが判ります。

右下の**隠す** ボタンを押すとプロ グラムは Windows のシステムト レーに収納され、常駐待機の 状態になります。

📜 RigExpert TI Manager	~
ステーダス ポート 設定	
インターフェース: RigExpert TI-8 interface (208000001) 〜	
- CAT ボート	
- PTT/CW ポート COM7 - はどのプログラムも開いていません。 PTT=RTS テスト CW=DTR テスト	
FSK ポート COM8 - はどのプログラムも開いていません。	
-WinKey ポート	
○ 隠す	

5 電話・CW・デジモード運用の設定

TI-8 は次のソフトを対象に製品化されています。それ等のソフトとは、MixW, MMTTY/MMSSTV/MMVARI, HRD, WinTest そのほか多数。概ね下記のハード関連 の設定はソフトで処理されます。

- サウンドカード入出力の選択、マイク(* USB Audio CODEC)とスピーカ(* USB Audio CODEC)。注意:マイクおよびスピーカの命名は Windows が行いますので、PC によっては「デジタル オーディオ インターフ」と表示されます。
- CAT ポートの選択、本冊子の例では COM7。ボーレート他のパラメータは TRX の 取説に従って下さい。
- PTT とCW 出力 (PTT は RTS に、CW は DTR に割付けられます)ポートの選択、本冊子の例では COM8。
- FSK 出力を使うソフトでは、シリアルポートに FSK 機能を割付けます。本冊子の 例では COM9。(場合により、設定 タブの FSK 極性反転 にチェックを入れる必要 があります。)
- WINKEY ソフトを使う場合は、シリアルポートに WINKEY を選択します。例では COM10.

個別のソフトの設定に際しては、取説とかヘルプを参照下さい。

6 運用開始!

TI-8前面の5つのLEDはソフト設定時および運用中の動作確認に役立ちます。



MainとSubのボリュームは入力レベル設定用で、TXボリュームは出力用で送信レベルの設定用です。